

## 第9回ふれあい祭が開催されました! 谷津干潟で「世界湿地の日」とコラボ

齊藤富男(事務局長)

平成20年度に第1回目を開催したふれあい祭も今年度で第9回目を迎えました。このふれあい祭は、文化交流部会の主管により国際交流協会の5部会横断的事業として、全ての部会が関わる、本協会の一大行事となっています。

今年度のふれあい祭は、谷津干潟自然観察センターのイベント「世界湿地の日」とコラボで、2017(平成29)年2月4日(土)に開催し、715名の来場者がありました。

企画内容として、親子連れが館内を巡って楽しめるようにセンターと共同で企画したスタンプラリー「渡り鳥になろう」(景品は鳥の絵はがきとピンバッジ)をはじめ、5部会の活動を写真・掲示物でパネル展示し、会員、市民及び在住外国人に対して多文化共生の発信とNIAをPRする場を設けました。

また、今年はタスカルーサ市との姉妹都市提携30周年記念でもあり、タスカルーサ市青少年訪問団の受入、習志野市青少年海外派遣団のタスカルーサ市訪問、習志野市公式・市民訪問団のタスカルーサ市訪問、タスカルーサ市公式訪問団の習志野市訪問と4つの交流事業の写真パネル展示とDVDの放映を行い、姉妹都市交流を積極的にPRするとともに、広報青年部会の青年部NI-Youthが来場した子どもたちと紙飛行機作りや、スパゲッティとマシュマロ、粘着テープを使ったマシュマロタワーゲームを行い、遊びの中からNIAに対する関心を強くアピールしました。

さらに、レクチャールームにおいては講師の津田沼高等学校吉田裕志先生はじめ生物部員による「アオサの有効利用～津田沼高等学校生物部がバイオエタノール製造に挑戦!」と題する講演会を開催(来場者50名)、また地下図書コーナーにおいては普段はサン



干潟を望む図書コーナーで英語交流会。様々な顔ぶれがCHATに集中



「アオサ」の講演は先生と生徒が協力



餃子を焼いて振る舞う習志野ロータリークラブのみなさん

ロード津田沼5F和室で開催しているALTも参加の「英語交流会」を開催し(中学生7名、高校生2名を含め20名参加)、充実したふれあい祭となりました。

今回のふれあい祭が、NIAの各部会員をはじめ谷津干潟自然観察センターの惜しみないご協力と、さらには習志野中央ロータリークラブ会員の皆さんによる「餃子の振る舞い」もあって実施できたことに、心より感謝いたします。

これからも国際交流協会活動を円滑に進めるため、各団体・機関との「連携」を深めるとともに、国際交流協会会員の皆さん方のご理解とご協力が得られるよう情報を発信していきます。



紙飛行機を楽しむユースメンバーと子どもたち



見事なマシュマロタワーが出来ました



大学生でも難しいタワー制作